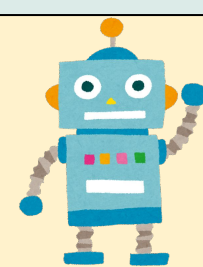


シン・ナースコール

43班



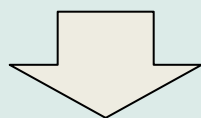
背景

- ・入院時にナースコールの使用をためらう
- ・班員の探究が医療と工学であったこと

⇒ナースコールの新しいシステムを作ろうと考えた。

現在のナースコールシステム

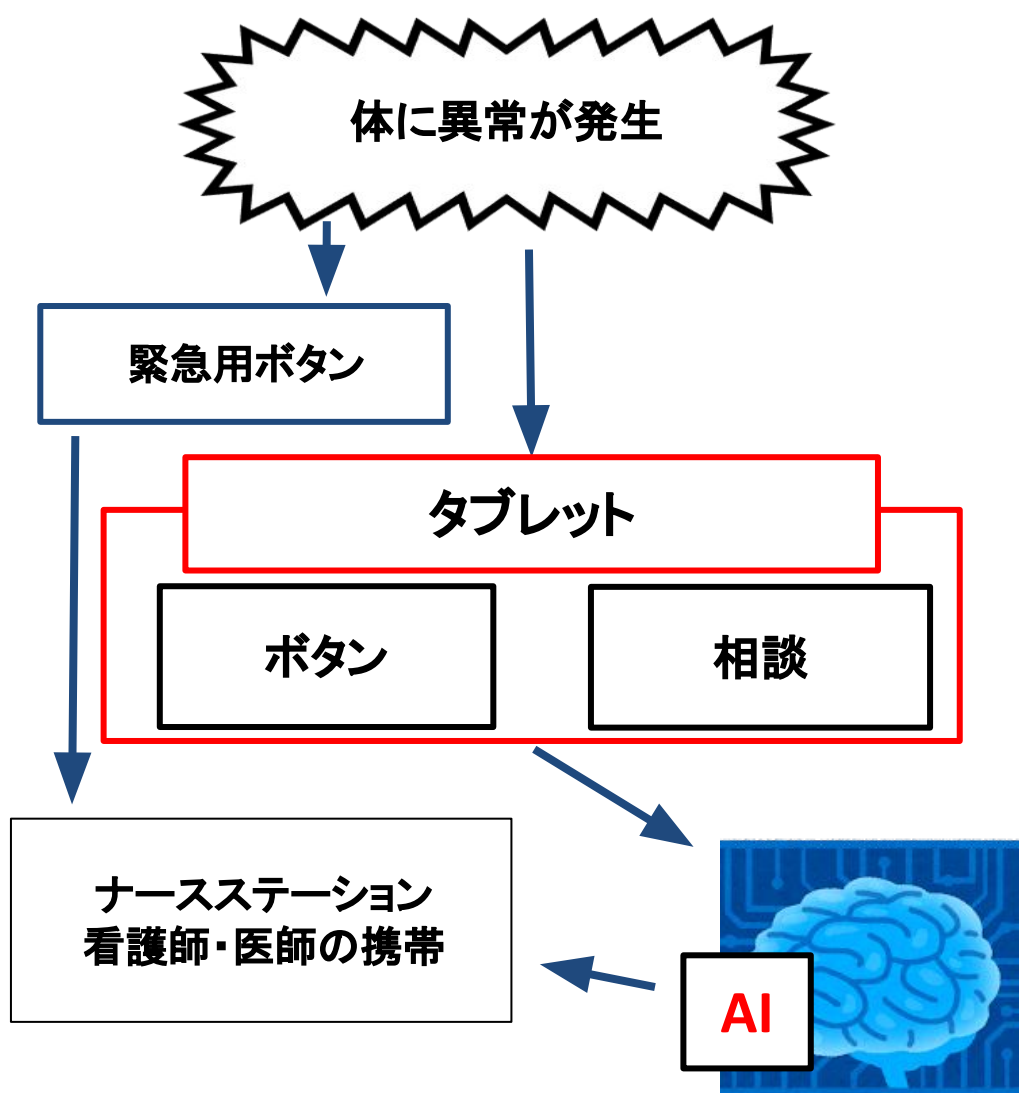
1. ナースコールが押された場所が表示され、音になる
2. スタッフがナースコールが鳴らされた場所に向かう、もしくは入居者と通話する
3. スタッフが復旧ボタンを押して表示灯を解除



現在の問題点

- ・患者 : ナースコールを押しづらい
: 大部屋の場合他人に内容を聞かれてしまう
- ・看護師 : ナースコール対応のための業務中断
: 緊急度や内容の識別ができない

シン・ナースコール



私達の提案するシステム

- ①患者がタブレットを用いて症状入力
→誰でも利用しやすいユニバーサルデザインのもの
※AIがClosed Questionを表示 ⇄ 患者が回答
- ②AIが入力内容に応じて緊急度を判別、それに応じて色分け
- ③看護師・医師の携帯へ送信
- ④緊急度の高い患者→看護師、医師による処置、投薬など
緊急度の低い患者→患者自身でできる対処法の提示

利点

- ・タブレットの利用
⇒患者のストレス軽減
- ・AIの利用
⇒看護師の業務中断によるミス防止
- ・緊急度識別
⇒看護師・医師の負担軽減
- ・ボタンによる選択肢の提示
⇒あらかじめ看護師は患者の症状がわかる



インタビュー

- (株)ケアコムへのインタビュー
・看護へのAI導入は、看護の概念に合わない
・どのようなAIを使うか明確にすること
・看護は”人を見る”
- 京都府看護協会へのインタビュー
・利用する人のターゲットを絞ること
・AIを利用したナースコールの需要有り
・患者「一番に来てほしい」緊急用ボタンの濫用

インタビューを受けて

- ・看護の完全自動化ではなく、部分的な利用にすることで人と人の看護を実現できる
- ・リハビリ系の病院での利用に限定することで利用者に寄り添ったシステムになる
- ・人とのふれあいが減ってしまうことが問題
- ・医療現場でAIが使われている例が少ない

参考資料

どうする？看護師の深刻な人手不足 <https://bowgl.com/nurse-hortage-of-workers/>
厚生労働省資料 <https://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/08/dl/s0821-4f.pdf>
ナースコールの仕組みや種類について解説
<https://kosnetwork.co.jp/kos-column-tel/nurse-call/> ナースコールの実態
<https://core.ac.uk/download/pdf/70354589.pdf>
『ユビー株式会社』 <https://ubie.life/>

まとめ

- ・AIの導入により効率化は見込まれる一方、患者は対面を望むため現時点では導入は難しい
- ・AIが緊急性の低いと判断した患者が重症化してしまったりどうするのかや、AIがどれだけ正確なのかなど課題も多く見つかった。